

平成 31（2019）年度西東京市図書館事業計画

1 基本理念

市民とともに学び、考え、成長する図書館をめざします

西東京市図書館は、市民のひとりひとりが自ら学び、考え、成長し、決定し、自らの責任で行動するために必要とされる知識や情報を分け隔てなく市民すべてに提供する公共サービス機関として、時代に適合した品質の高いサービス提供に積極的に取り組み、成長する図書館であり続けます。

2 主要事業

- (1) 中央図書館・田無公民館耐震補強等改修基本設計の実施
- (2) 地域・行政資料の電子化の推進と公開に向けた取り組み
- (3) 図書館管理システムの更新とネットワークの再構築

3 実施事業

「図書館計画（2019 から 2023 年度）」における 6 つの基本方針に基づいた具体的な取り組み事業を推進します。平成 31 年度に取り組む事業は次のとおりです。

【基本方針 1】 資料の収集と保存の充実

- ①利用の多い児童書について複冊購入や資料の入替えといった整備を進めます。
- ②大活字本の利用状況を館ごとに調査し、蔵書構成の充実に生かします。
- ③一般図書の資料保存の整備を進めます。
- ④児童資料の保存のあり方について検討するため、各館の書庫の現状を検証します。
- ⑤音訳資料等の保存のため、谷戸図書館書庫の資料を整備します。
- ⑥マルチメディアデジタイズ図書を積極的に収集し、利用促進を図ります。

【基本方針 2】 すべての市民に活用されるために

- ①宅配サービスの利用者拡大のための検討及びPRを進めます。
- ②デジタイズ図書の蔵書目録（活字版・音声版）を作成し、利用促進を図ります。
- ③市内高齢者施設や入所利用者が図書館に求めるサービスについて、高齢者支援課と協力して調査します。
- ④多文化理解のためのサービスとして、市や地域で作成している外国語資料や情報発信について、現状調査を行います。
- ⑤多文化理解のためのおはなし会を継続実施します。
- ⑥利用しやすい環境づくりのため、各図書館内の表示・サインの調査と検討を行います。
- ⑦地域性を考慮した最新情報を提供するため、ビジネス支援コーナーの書架構成を再検討します。

- ⑧資料やインターネット情報の活用の促進を図るため、レファレンス講座や講習会を実施し、利用者の調査・研究を支援します。
- ⑨迅速で信頼性の高いレファレンスを行うため、職員向け研修を実施します。また、西東京市図書館で作成したレファレンス記録データ整備を進めます。
- ⑩国立国会図書館レファレンス協同データベースを活用し、レファレンス記録情報を公開します。
- ⑪効果的な情報発信と利便性を高めるために、図書館ホームページをリニューアルします。
- ⑫情報発信媒体について検討し、積極的な広報活動を行います。

【基本方針3】 西東京市の文化・歴史を次世代に継承する

- ①西東京市に縁（ゆかり）のある人物情報・関連情報を図書館ホームページや講演会等で積極的に発信するとともに、収集を継続します。
- ②電子化した西東京市の地図や古文書、市史等歴史的資料の利活用を促進するため、Webでの公開に取り組みます。

【基本方針4】 未来を担う子どもの読書活動の支援

- ①読書のきっかけ作りとして、子どもの年齢に合わせた興味を引く展示を継続的に実施します。
- ②おはなし会ボランティアを育成するため、養成講座や合同研修を実施します。
- ③団体貸出用すいせん図書パック「いいね！！西東京市おすすめ（セレクト）本」の利用促進を図ります。
- ④乳幼児とその保護者に向けて、絵本の紹介や読み聞かせの実演など、絵本に関する講座を実施します。
- ⑤絵本と子育て事業を継続して実施し、子どもと保護者の読書活動を支援します。
- ⑥図書館利用のきっかけ作りにつなげるため、参加型行事の内容を検証します。
- ⑦読書活動振興を目的に、要望に応じた放課後子供教室への司書派遣について、関係課・団体との調整を行います。
- ⑧YA世代を対象とした読書会等、読書の楽しみを他者と共有できるイベントを開催します。
- ⑨学校司書と連携し、調べもの学習の協力・支援を進めます。

【基本方針5】 地域、行政と連携した図書館サービスの向上

- ①武蔵野大学協力事業を推進します。
- ②西東京市の歴史的資料の公開に向けて、関連部署と連携します。
- ③東京オリンピック・パラリンピック 2020 資料展示を実施します。
- ④絵本と子育て事業について、読み聞かせ講師の協力による事業の充実を図ります。
- ⑤新たな音訳者の養成と音訳者の技術向上のため、中級養成講座・専門研修を実施します。
- ⑥宅配ボランティアへの研修を継続的に実施するとともに、サービス充実のため引き続きボランティアの募集を行います。

【基本方針6】 効率的・効果的な運営体制の構築

- ①行政職員として必要な知識を習得するため、窓口対応（接遇対応）などの研修を実施します。
- ②資質向上のための関係機関が開催する専門的な研修へ参加し、職員全体で情報を共有することで職員組織の強化を図ります。
- ③図書館管理システムの更新とネットワークの再構築を行い、情報セキュリティ強化を実施します。
- ④中央図書館・田無公民館耐震補強等改修基本設計を実施します。
- ⑤図書館計画に基づく実施事業の自己評価を行い、図書館協議会による二次評価を実施します。